

渋谷区立臨川小学校(PTA) (所在地:東京都)



(左より)PTA役員 今村 尚徳 様/
PTA会長 曾田 範子 様/学校長 河口 尚志 様

■学校紹介

創立147年。全校児童数365名。
学校教育目標「やさしく つよく かしこく」のもと、
臨川小学校で学ぶことに誇りをもち、互いの違い
を認め高め合う豊かな心と時代の変化に柔軟に
対応する知性を備え、たくましく未来を創造して
いく子どもの育成を目指す。



学校・PTAの想い

■学校として

将来の予測が困難なVUCAな時代において、
「社会を生き抜く力」や「自分で未来を切り拓く力」を育むことが重要である。これらの力の土台となる漢字の運用能力をはじめとする国語力を小学生の早い段階から身につけさせたい。

■PTAとして

子どもたちに**学び自体を「やらされている」ものではなく、本来楽しいものだ**とマインドチェンジしてもらいたい。

漢検実施の概要

■対象

臨川小学校の児童および保護者
※2024年度は小学生・保護者計85名が受検

■実施時期

第3回冬の検定で実施

■学校との役割分担

基本的にはPTA役員・保護者ボランティアが運営。
結果資料等の返却は担任教員を通じて配布

■事前準備～検定実施に向けて

「がくぶり」(※1)を利用し、以下を実行

- ①漢検実施に関するニーズおよび検定日
当日のボランティアに関する事前アンケート
- ②漢検実施決定後の各家庭への案内配信
- ③申込締切日直前のリマインド配信
- ④検定料の集金

⇒「がくぶり」を利用することで、事前準備から
申込手続きまでオンライン上で完結できた。

・漢検協会の「検定料控除制度」を活用し、「がくぶり」の集金システム使用料および検定日当日の受検者への記念品に充てた。

・各家庭への案内文書や申込の取りまとめに関しては、漢検団体サポートサイトに掲載されている案内文書や、受検者募集用Googleフォームを活用することで、実施負担の軽減につながった。

漢検導入の経緯

■漢検導入の背景

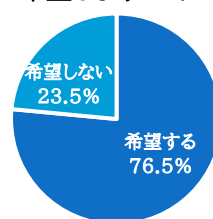
PTA活動は学校・家庭が一緒となり、子どもたちの成長を支えることが本来の役割である。しかしながら共働きの世帯が多く、**PTA活動が「やらされている」受動的な活動になっていることを危惧**していた。

臨川小学校のPTA活動についても、「できる人」が**「子どもたちのために自発的に動きたい」と思える活動にシフト**すべく熟議を重ねていた。熟議の過程で、PTA役員より**「子どもたちのためになる活動として漢検を行いたい」という声**があがり、PTA活動の一環として取り組むことを検討することになった。学校としても、教員の働き方改革が推進される中、**保護者と一緒に子どもの学力や学習意欲を育む取り組みを行いたい**と考えていた。

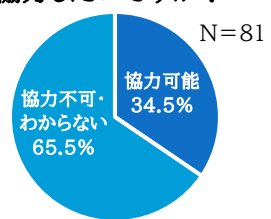
■漢検実施の決定

アンケートを実施した際、**回答者の8割弱より「受検したい」、3割強が「当日の運営ボランティアに協力可能」という結果**であった。この結果を受けて漢検実施を決定した。

Q.漢検の受検を希望しますか？



Q.当日の運営スタッフとして協力したいですか？



<子どもたちにとって>

【**挑戦意欲の向上**】目標に向かって学習し、合格する経験は、**将来さまざまな取り組みに挑戦し、成し遂げたいという意欲を醸成**する。

【**学習方法の習得**】漢検の学習を通じて、ただ漢字を1回書いて終わりにするのではなく、復習をすることの大切さなど**学び方を習得**できる。

<PTA・保護者にとって>

【**家庭・地域との連携**】子どもの学力向上に役立つ取り組みを学校で行うことで、**家庭・地域が学校の教育活動に参画するきっかけとなり、次年度以降のさらなる主体的なPTA活動を展開していく布石**となる。

【**検定料の負担軽減**】公開会場での個人受検と比べて、1,000円安く受検できる。

【**受検しやすい環境づくり**】普段通っている学校で気軽に受検できるため、特に**低学年の子どもにとって安心安全な環境でチャレンジ**することができる。

次年度以降、**より家庭・地域が学校教育に主体的に参加したいと思えるようなPTAの仕組みづくりを目指している**。この実現に向けて以下の課題に取り組んでいく。

①PTA活動に参加する保護者を増やす

現状はPTA活動に参加できる男性の保護者が少ない。保護者が参加したいと思えるような活動を増やし、より多様な視点から臨川小学校の教育活動を支える仕組みにしていこう。

②学校の教育活動との連携を図る

学習進度や子どもの受検情報をPTA⇔学校間で共有し、一人ひとりの子どもに対して適切なコミュニケーションを取れるよう図っていく。

③リアルなコミュニケーションを促進する

日頃から保護者同士がコミュニケーションを取れていることが、PTA活動を円滑に進めるうえで不可欠である。この実現に向けてリアルでもコミュニケーションをとれるコミュニティづくりを目指す。

(※1)「がくぷり」…株式会社Lavan7が提供する校務支援アプリケーション

＜参考＞漢検実施までの流れ

時期	内容
11月上旬～11月下旬	「がくぷり」で保護者へアンケートを実施
12月上旬	「がくぷり」で受検案内を配信。漢検ポスターを校内に掲示
1月上旬	「がくぷり」で申込締切日をリマインド配信
1月中旬	申込締切日 ※締切日までに申込者は「がくぷり」で検定料を振り込む 漢検担当者が振込確認後、申込用のcsvファイルを作成
1月下旬	団体専用ページよりWEB申込
1月下旬	請求書到着後、「がくぷり」にて検定料を支払い
2月中旬	漢検協会が定める検定日に実施

＜参考＞保護者の声(受検後アンケートより一部抜粋)

- ・普段の学校で友達と一緒に受検できるのは低学年にとって、とても良い機会でした。
- ・学年末に開催していただけるとその学年の勉強の総括となり、ありがたいと思います。
- ・公開会場での受検ではいまいち乗り気にならなかった娘が、臨川小学校でなら、とやる気になってくれました。
- ・漢検は、学年で覚える漢字をどれだけ到達できているのか、練習や結果を通して自覚できるものなので、とても重要と考えています。継続していただくと、とても有り難いです。
- ・小学校の友達と刺激をもらいながら、慣れた場所で漢検を受検できる恵まれた環境に感謝です。

Q. 今回の受検について

満足…89.8% / どちらかと言えば満足…10.2%

Q. 漢検を継続した場合、スタッフとして協力したいですか？

ぜひ協力したい…22.2% / 協力しても良い…34.4%